



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	76,741	5.6	4,793	44.8	10,383	40.6	6,047	36.6
27年3月期第3四半期	72,690	△0.9	3,309	△22.9	7,387	2.5	4,425	△0.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 5,977百万円 (16.4%) 27年3月期第3四半期 5,133百万円 (△0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	45.29	—
27年3月期第3四半期	33.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	122,251	76,073	57.0	521.86
27年3月期	113,940	71,584	57.6	491.85

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 69,682百万円 27年3月期 65,679百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.0	5,000	29.6	12,000	26.1	7,000	22.6	52.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	141,667,400株	27年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	8,139,915株	27年3月期	8,130,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	133,531,346株	27年3月期3Q	133,345,141株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善が見られ、全体として緩やかな回復基調となりましたが、中国の景気減速など海外経済の下振れ懸念がやや深まり、先行きへの不透明感が強まりました。一方、個人消費につきましては、消費マインドが持ち直し傾向となり、総じて底固い動きで推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは当期で最終年度となる第5次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase2（三井製糖2022への道）」（2014年4月～2016年3月）の完遂に向け、役職員一同尽力してまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りとなりました。

## (砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は12セントでスタートし、13セント半ばまで達しましたが、主要生産国の好調な圧搾状況や、国際商品市況全体の低迷などを受け、8月には10セント前半まで値を下げました。10月に入ると、世界最大の輸出国ブラジルの圧搾遅れによる需給環境の逼迫見通しから、相場は14セント台まで急騰いたしました。その後は主要生産国の1つであるインドの過剰在庫観測や、投機筋の資金流入、米国の利上げ観測など様々な要因が交錯しながら相場は上下を繰り返し、15セント前半で第3四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では慎重な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、期初からの順調な操業による工程の負荷軽減や、ガスの調達コストの低下もあり、前年同期と比較して製造変動費が減少いたしました。

販売面では、飲料ユーザー向けが好調に推移したほか、家庭用についても年末需要期の出荷が好調であり、販売量につきましては前年同期を上回りました。一方、価格面では上期の海外粗糖相場の下落を受けて10月から値下げを実施いたしました。

連結子会社では、生和糖業(株)で台風被害などによる販売量の減少がありましたが、北海道糖業(株)では単位面積当たり収穫量の増加などから販売量が前年同期を上回りました。また、昨年7月に連結子会社化した(株)平野屋が増収に貢献いたしました。

以上の結果、砂糖事業全体としては、売上高64,598百万円、営業利益3,790百万円となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値185円～186円 高値185円～186円 安値183円～184円 終値183円～184円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値12.00セント 高値15.85セント 安値 10.13セント 終値 15.24セント

## (フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、当社ではパラチニット部門における仕入商品の不振などがありましたが、パラチノース部門において前期に国内生産を終了し輸入に切り替えたことなどから売上総利益率が改善し、増益となりました。

また、連結子会社では、(株)タイショーテクノスの販売が回復し、前期に連結子会社化したニュートリー(株)で主力商品の販売が好調に推移したことが増収増益に貢献いたしました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体として売上高11,134百万円、営業利益468百万円となりました。

## (不動産事業)

前期に再開発した東京都杉並区及び川崎市の賃貸マンションが、ほぼ満室状態で稼働した効果に加えて、既存賃貸物件に係る保全費用の発生もなく、売上高、営業利益とも前年同期を上回り、売上高1,008百万円、営業利益534百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76,741百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は4,793百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー5,306百万円、持分法による投資利益357百万円を計上したことなどから、経常利益10,383百万円（前年同期比40.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,047百万円（前年同期比36.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8,311百万円増加し122,251百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

## ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比5,979百万円増加し54,197百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加3,013百万円、受取手形及び売掛金の増加2,726百万円、現金及び預金の増加2,151百万円等があった一方で、商品及び製品の減少1,921百万円等があったことによるものであります。

## ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比2,331百万円増加し68,054百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具の増加1,213百万円、建設仮勘定の増加1,012百万円等があったことによるものであります。

## ③負債

負債は、前連結会計年度末比3,822百万円増加し46,178百万円となりました。これは主として、借入金の増加2,869百万円、支払手形及び買掛金の増加2,224百万円等があった一方で、未払費用の減少700百万円等があったことによるものであります。

## ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比4,488百万円増加し76,073百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益6,047百万円、剰余金の配当1,644百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成28年1月に発生した神戸工場事故に起因する復旧費用等が見込まれるものの、エネルギーコストの低下や受取ロイヤリティの増加などから前回公表値を修正しております。本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,178	18,330
受取手形及び売掛金	6,848	9,575
商品及び製品	15,683	13,761
仕掛品	1,878	1,911
原材料及び貯蔵品	5,352	8,366
繰延税金資産	680	543
その他	1,595	1,738
貸倒引当金	△0	△29
流動資産合計	48,217	54,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,498	35,151
減価償却累計額	△20,887	△21,511
建物及び構築物(純額)	13,610	13,639
機械装置及び運搬具	72,683	73,090
減価償却累計額	△60,050	△59,244
機械装置及び運搬具(純額)	12,633	13,846
工具、器具及び備品	2,325	2,322
減価償却累計額	△2,016	△2,021
工具、器具及び備品(純額)	308	301
土地	18,435	18,436
リース資産	912	888
減価償却累計額	△118	△193
リース資産(純額)	794	695
建設仮勘定	2,960	3,973
有形固定資産合計	48,742	50,892
無形固定資産		
のれん	2,380	2,691
その他	678	924
無形固定資産合計	3,058	3,615
投資その他の資産		
投資有価証券	12,055	11,581
長期貸付金	35	25
退職給付に係る資産	302	343
繰延税金資産	685	685
その他	867	934
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	13,920	13,545
固定資産合計	65,722	68,054
資産合計	113,940	122,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,804	9,028
短期借入金	5,300	8,470
1年内返済予定の長期借入金	1,778	1,589
リース債務	93	92
未払費用	2,851	2,151
未払法人税等	1,900	1,593
役員賞与引当金	59	42
その他	3,995	3,644
流動負債合計	22,783	26,612
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,555	2,444
リース債務	706	628
繰延税金負債	1,326	1,465
役員退職慰労引当金	218	208
退職給付に係る負債	2,886	2,968
資産除去債務	395	408
その他	1,484	1,442
固定負債合計	19,572	19,565
負債合計	42,356	46,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	58,665	63,110
自己株式	△2,895	△2,899
株主資本合計	64,144	68,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581	756
繰延ヘッジ損益	△1	△38
為替換算調整勘定	690	132
退職給付に係る調整累計額	263	247
その他の包括利益累計額合計	1,535	1,097
非支配株主持分	5,904	6,390
純資産合計	71,584	76,073
負債純資産合計	113,940	122,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	72,690	76,741
売上原価	56,723	58,011
売上総利益	15,967	18,729
販売費及び一般管理費		
配送費	3,408	3,615
役員賞与引当金繰入額	42	46
退職給付費用	149	113
その他	9,057	10,162
販売費及び一般管理費合計	12,657	13,936
営業利益	3,309	4,793
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	87	220
受取ロイヤリティー	4,012	5,306
持分法による投資利益	292	357
雑収入	124	167
営業外収益合計	4,518	6,059
営業外費用		
支払利息	98	80
社債発行費	47	—
固定資産除却損	63	82
設備撤去費	92	144
雑損失	138	161
営業外費用合計	441	469
経常利益	7,387	10,383
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
補助金収入	375	1,202
負ののれん発生益	—	78
特別利益合計	384	1,280
特別損失		
固定資産圧縮損	359	1,186
固定資産除却損	207	—
投資有価証券評価損	—	554
段階取得に係る差損	—	52
特別損失合計	567	1,793
税金等調整前四半期純利益	7,204	9,869
法人税、住民税及び事業税	2,125	3,218
法人税等調整額	434	229
法人税等合計	2,559	3,447
四半期純利益	4,645	6,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	219	374
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,425	6,047



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	4,645	6,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	196
繰延ヘッジ損益	△46	△59
退職給付に係る調整額	68	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	283	△555
その他の包括利益合計	487	△445
四半期包括利益	5,133	5,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,874	5,629
非支配株主に係る四半期包括利益	259	347

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,348	8,478	863	72,690	—	72,690
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	—	34	64	△64	—
計	63,378	8,478	898	72,755	△64	72,690
セグメント利益	2,710	243	355	3,309	—	3,309

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、ニュートリー株式会社を連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「フードサイエンス事業」セグメントにおいて6,269百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ニュートリー株式会社を連結子会社としたことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、「フードサイエンス事業」セグメントにおいて2,354百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,598	11,134	1,008	76,741	—	76,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	75	30	138	△138	—
計	64,630	11,210	1,039	76,879	△138	76,741
セグメント利益	3,790	468	534	4,793	—	4,793

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。